

ケアラーの悩み、お聞きします

ひとりで悩まず相談を…

ケアラーは、心や身体に不調のある人の「介護」「世話」「気づかい」など、ケアに必要な家族・知人などを無償でケアする人のことです。

【相談窓口】 町福祉課、町社会福祉協議会

【相談ダイヤル】 ※①～③の窓口は平日 8:30～17:15 です。

①子どもの相談 町子育て支援センター「スキップ」 ☎ 72-1280

②高齢者の相談 町地域包括支援センター ☎ 73-2255

③障がいの相談 町福祉課福祉・子育てグループ ☎ 73-2222

④ケアラーの相談 町社会福祉協議会 ☎ 72-2121（月・水・金 / 午前）
（専用ダイヤル）



町 HP でも
情報発信中！

夫婦2人世帯の高齢者がそれぞれ要介護認定を受けて介護サービスを利用している場合、お互いにケアラーであり、ケアされている側でもあります。「ケアラー」と一言と言っても、さまざまな形があります。



町地域包括支援センター
樋渡 哲也 センター長

【問い合わせ】 町地域包括支援センター ☎ 73-2255

ケアラーの
窓から
VOL.2

栗山消防団 出初式



1月6日、新春恒例の出初式が開催され、駅前通り商店街などで「出初はしご乗り」、カルチャープラザ「Eki」では式典がそれぞれ行われました。

午前の「はしご乗り」は今年1年の無火災を祈願し行われているもので、高さ約7メートルのはしごの上で登梯員が掛け声とともに妙技を披露。

午後からは、第1分団から第3分団の団員133人と救急車や救助工作車などの消防車両が分列行進し、式典では、長年にわたり地域防災に貢献された皆さんへの表彰などが行われました。

出初式表彰者（敬称略）

消防庁長官表彰

■感謝状

元栗山消防団分団長 早苗 雄二

■永年勤続功労章

団本部副団長 伊藤 三也

北海道知事表彰

■永年勤労章（勤続30年）

第1分団分団長 塩見 望

第2分団副分団長 川畑 憲吾

第2分団班長 橋元 治

■表彰状（勤続20年）

第3分団団員 飯尾 隆亮

第3分団団員 大西 剛史

第3分団団員 川崎 太樹

■表彰状（勤続10年）

第1分団団員 鈴木 孝史

第1分団団員 富樫 崇裕

第1分団団員 西岡 政則

第2分団団員 高野 勝則

第2分団団員 正井 博美

第3分団団員 大野 浩司

北海道消防協会長表彰

■特別功績章

団本部副団長 伊藤 三也

■功績章

第1分団分団長 塩見 望

第2分団班長 橋元 治

第1分団班長 村上 渉

第3分団団員 飯尾 隆亮

第3分団団員 大西 剛史
第3分団団員 川崎 太樹

■勤続章（勤続10年）

第1分団団員 廣瀬 勝憲

第2分団団員 正井 博美

第2分団団員 水上 雄亮

第3分団団員 宮本 準

第3分団団員 岩崎 翔弥

第3分団団員 大野 浩司

北海道消防協会空知地方支部長表彰

■勤続章（勤続15年）

第2分団団員 瀧澤 茂和

第2分団団員 蛇谷 慎也

第3分団団員 猪熊 政信

第3分団団員 岡岡 晃平

第3分団団員 岡村 貴義

■勤続章（勤続5年）

第1分団団員 山崎 崇朗

第1分団団員 渡部 将太

第2分団団員 菅野 寿

女性消防部 山内あづさ

南空知消防組合管理者表彰

■感謝状

元栗山消防団分団長 早苗 雄二

元栗山消防団部長 瀬尾 正樹

町公式 note 配信中！



消防団の歴史・団員インタビューなどを紹介しています。



←記事はこちら

こんにちは！ 町史編さん室です

町史第三巻の完成近づく

この「こんにちは！ 町史編さん室です」も次号で最終回となります。平成28年4月に町史編さん室を設置し、推進員4人、嘱託1人でスタートしてから6年余り。栗山の歴史を後世に伝えるため、膨大な資料の収集から始まり、整理・保存を行いつつ、作業を進めてきました。

しかし、途中で平成時代が幕を閉じるとは考えてもいませんでしたので、今思えば時宜を得た編さん作業になりました。

推進員は、各自、経験や専門知識をもって執筆にあたり、刊行に至るまで100回以上の推進員会で協議を重ね、慌ただしい日々が幾日も続きました。史実を正しく正確に記述することに努めました。いまだ収集できずに町内に埋もれている資料もたくさんあるはずですし、構成上やむを得ず割愛せざるを得なかった部分や書き足りない点、調査を尽くせぬ点もあったかと思っています。

そして、3月には内容を一新

した町史第三巻が完成します。この間、資料提供を頂いた多くの町民の皆さま、企業、団体並びに町関係部局の方々のご協力に、あらためて心から感謝とお礼を申し上げます。

発行する町史第三巻が皆さんにとって、ふるさと栗山がさらに発展する貴重な礎となることにも、収集した資料が散逸せず保存され、広く活用されることを願っています。

（衣川）

【問い合わせ】

町史編さん室
☎ 7820



口絵の一部（案）